

『割れない』 不燃認定シート製防煙垂壁《テンションタイプ》

# SOS - T 施工要領書

## (シャット・オフ・スモーク - テンションタイプ)

### 【 壁付け用 】

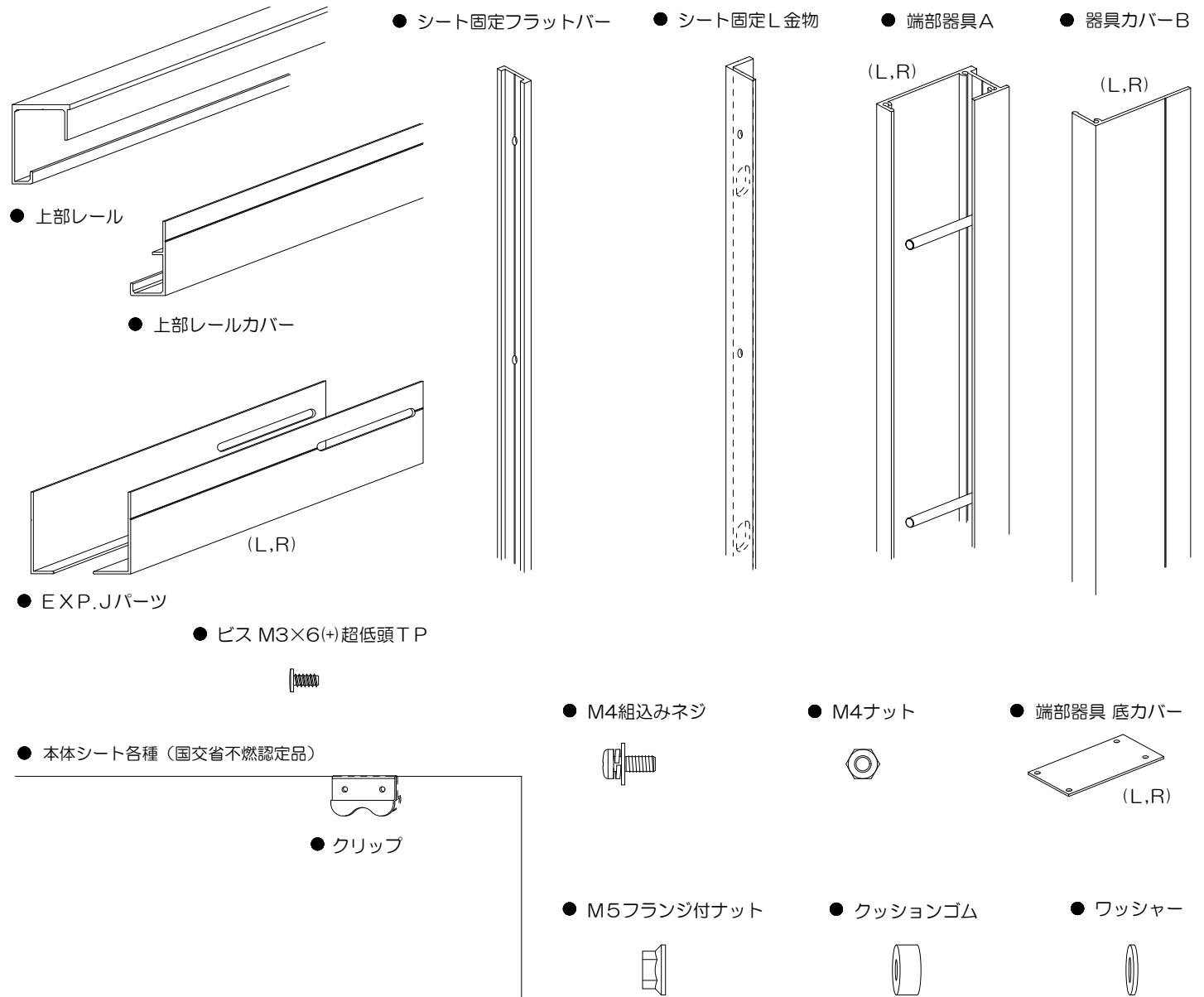
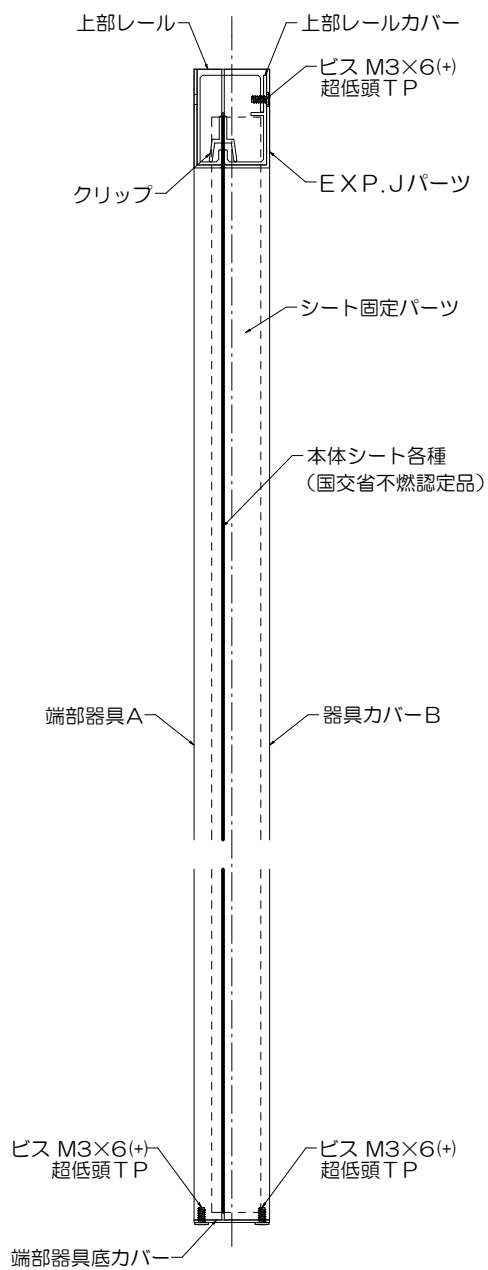
防煙垂壁  
bouen-tarekabe.net



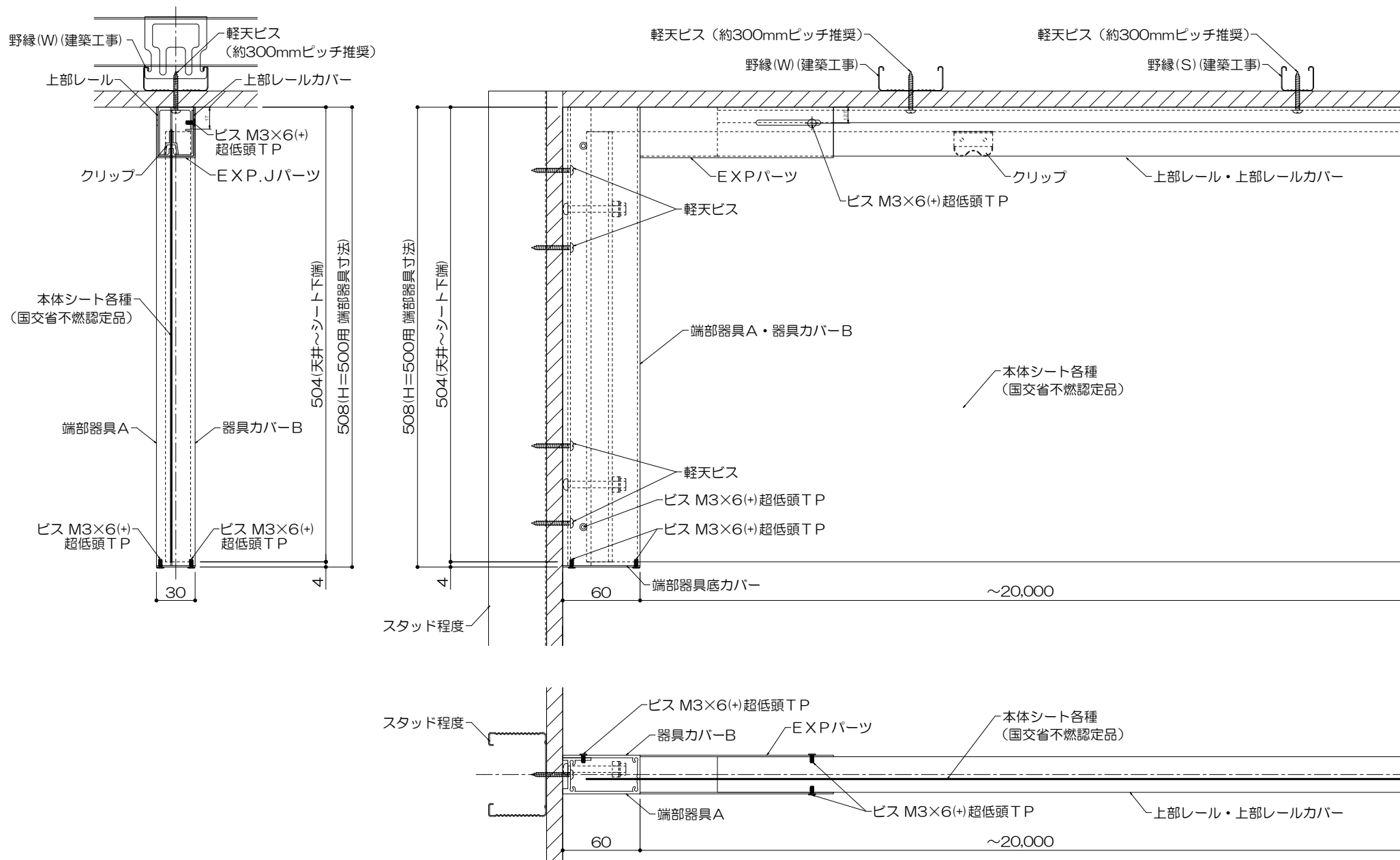
株式会社 タナテック

Ver. 4

# SOS-T【壁付け用】パーツ 一覧



# SOS-T【壁付け用】製品図



◎施工前に準備する工具・資材・金物等

工具・資材・金物等	詳細	用途	確認
養生シート・養生テープ	ブルーシート ポリシート マスカー	床養生 商品養生	
足場材 (元請けより貸与頂けない場合)	5m以上のスパンは柱・壁際および中間位置の計3か所の配置が必要 立ち馬(伸び馬)、ライトベース、脚立+歩み板、アップスター、 ローリング足場、高所作業車等・・・天高によって使い分けてください	器具、上部レール取り付け 他	
インパクトドライバー プラスドライバー	プラスビット (L=65mm、L=110mm No2 および No1) No2 および No1	テンション器具取り付け、上部レール取り付け他 下穴用 吊り下げクリップ締結用	
六角レンチ ラチェットレンチ	8mm (M5用)	シートにテンションをかけるナットの締め付け	
卓上マルノコ	アルミ用チップソー	上部レール・上部レールカバーのカット他	
軽天ビス M3.5~M3.8 ドリルビス M4 (ナベ頭) (商品名: テクス・ピアス)	軽天ビス M3.5×3.2 M3.5×5.1 ドリルビス M4×3.5 M4×4.5  ビスの長さは天井ボード板厚によって使い分けてください	上部レール材取り付け テンション器具取り付け  *天井Mバー、壁・柱スタッド締結は軽天ビスで締結 *補強材、鉄骨柱、鉄板等はドリルビスで締結	
レーザー距離測定器 墨出しレーザー・水系・墨壺・水準器 巻き尺	20m以上 20m以上	柱間の距離測定 上部レールの取り付け、テンション器具の取り付け シートカットの長さ測定	
曲尺・下敷き 磁石	曲尺: 500mm以上 強力 ネオジム磁石	シートカットに使用 天井・壁・柱の軽鉄下地探しに使用	
キリ	Φ5mm Φ2.5mm	上部レール取り付け用下穴  器具カバー、上部レール側面カバー取り付け用下穴	

その他・・・

イレギュラーの状況に対応するために準備するもの

シールガン			
シール	クリアーまたはライトグレー		
マスキングテープ			
ボンドコーク	ホワイト、ライトグレー		
ボードアンカー	10mm用他		

◎SOS-T 取り付け手順・要領 -1

手順図	要領	使用工具・測定具・他	梱包材
①-1 端部器具A (L・R) の底カバーの取り付け	端部器具、底カバーには左 (L) 用・右 (R) 用の2種が同梱されています 左右端部器具の底に左右の底カバーを付属のM3×6のタッピングビスにて3か所取り付けます	インパクトドライバー +ビットNo1	端部器具A (L・R) 底カバー (L・R) M3×6のタッピングビス
①-2 壁・柱への端部器具Aの取り付け	左右の端部器具のマーキング (R・L等) してある方を上にし、水準器で垂直 (タチ) を確認してから 図面指示の垂れ壁芯に器具芯 (器具外面より15mmおよびV溝が芯) を合わせて 器具下穴に沿ってビスにて取り付けます 壁・柱面の取付下地 (スタッド・補強材等) に器具がしっかり締結されていることを 端部器具を揺すって必ず確認して下さい 柱・壁の天井際に廻り縁やフクビ等があれば32mm程度カットしてください	スタッド等は軽天ビス 補強材、鉄骨柱等は ドリルビス 水準器 下地探し強力磁石 カッターナイフ 電動マルチカッター	ビス・ねじは同梱されて いません
ポイント	端部器具、底カバーには左 (L) 用・右 (R) 用の2種があります		
②-1 スタート上部レールへの EXP. Jパーツ (L・R) の取り付け	上部レール端から60mm出した位置にて上部レール用のEXP. Jパーツを下穴 (Φ2.5mm) を開けて、付属のM3×6のタッピングビスにて取り付ける 下穴の位置は長孔の端から10mm程度の位置です	キリ (Φ2.5mm)	上部レール EXP. Jパーツ
②-2 天井への上部レールの取り付け エンド上部レールへの EXP. Jパーツの取り付け	端部器具Aの外面にEXP. Jパーツの外面を合わせた位置から軽天ビスにて 垂れ壁取り付け芯に上部レール芯を合わせて300mmピッチ程度で天井の 軽天下地材 (Mバー) に取り付けます ビスの取り付けスタートおよびエンドは上部レールの端から30mm程度です 上部レールのエンドにもスタート部と同様に端から60mm出た位置にて上部レール用の EXP. Jパーツを下穴 (Φ2.5mm) を開けて付属のM3×6のタッピングビスにて 取り付けてから反対側の端部器具Aの外面にEXP. Jパーツの外面を合わせて取り付けます レーザー等を使用して上部レールの蛇行を極力少なくしてください 事前に上部レールに下穴5mm程度をあけておくことスムーズに、きれいに取り付けできます	インパクトドライバー 丸のこ レーザーまたは チョークライン 下地センサーまたは キリ (Φ5mm)  下地探し用強力磁石	ビス・ねじは同梱されて いません 上部レールは同梱
上部レール: L=3000mm			
ポイント	極力上部レールの蛇行、ジョイント部の目違いに注意して取り付ける		
③ シートのカット	清掃した床の上に養生材 (ブルーシート等) を敷き、その上にロール状のシートを広げる 柱 (壁) 間の距離を測定し、その距離 - (マイナス) 35mmで巻き尺にて2辺寸法を 測定し、下敷きを敷いて曲尺を当てて正確にカッターナイフでシートをカットする シートの使い始めは直角が出ていないので、曲尺を当てて30mm程度捨て切りし 直角を出してからシートを使用してください	下敷き カッターナイフ 曲尺 巻き尺 レーザー距離計	
ポイント	シートの直角を出す シートは内間 (柱間、柱・壁間) - 35mmでカット		
④-1 シートの養生フィルムのカット	広げたシートの上下の小口できれいにカットしてある方を下 (見える方)、 汚い方を上 (隠れる方) とし、上方シートの両面に貼りついている養生フィルムを両面とも 50mm幅程度剥がしておく	マスキングテープ	シート固定フラットバー
④-2 シートへのフラットバーの固定	シートの固定用フラットバー (両面テープが貼ってある) に養生フィルムを剥がしたシートの 両端部を貼り付けて、ネジが通りやすいようにプラスビット等先端のとがった物で シートに穴をあける		M4組み込みネジ、ナット
④-3 シートへのL金物の固定	シート固定L金物で張り付けたシートを挟み、付属のM4組み込みネジとナットで締め付けて固定する やわらかいシートの場合はインパクトドライバー等で締め付けすぎるとシートに シワが発生するのでプラスドライバーで最後は手締めしてください L金物の取り付け向きを間違わない		シート固定L金物
ポイント	シート養生フィルムはカッター等で端に切れ目を入れてから手ではがしていきましょう フラットバーとシートの貼り付け時に発生したシワはテンションをかけてもなくなりません		

\* 上記手順の番号は取り付け手順・要領図の振り番号を参照願います

◎SOS-T 取り付け手順・要領 -2

手順図	要領	使用工具・測定具・他	梱包材
⑤ 吊り下げクリップの取り付け	広げたシートの上下の小口できれいにカットしてある方を下（見える方）、汚い方を上（隠れる方）とし、養生フィルムを剥がしてある方に吊り下げクリップを取り付けていく クリップの取り付けピッチは両端から800mm程度の位置からスタートし、800mm程度のピッチで取り付けてください クリップはシートを挟み込み、M3×6のタッピングビス2本で締結していく	プラスドライバー	吊り下げクリップ M3×6のタッピングビス
ポイント	あまり細かく吊り下げクリップを取り付けない シートの下にダンボール等の下敷きを敷くと床を傷付けずにスムーズに取り付けできます		
⑥-1 シートの取り付け	2人でシート固定金物をそれぞれ持ち、シートを平にして折れ曲がりに気を付けながら各々端部器具Aの下に持って行き端部器具横で待機している人にシート固定金物を渡します	ラチェット	
⑥-2 シートの取り付け クリップの引っ掛け	受け取った人はシート固定金物の長穴を端部器具Aのボルトに通し <b>付属のワッシャー、クッションゴム</b> をボルトに装着しナットをボルトの先端にかかる程度回して固定します 上部レールの内側にあるL形の部分にクリップを引っ掛けていきます		ワッシャー クッションゴム M5 ナット
⑥-3 上部レールカバーの取り付け	上部レールカバーを上部レール本体の位置に合わせてクリップを掬い上げながら同梱のM3×6のタッピングビスにて上部レールカバーを取り付けていきます 下穴径は2.5mm、取り付けスタートおよびエンドは上部レールカバーの端から30mm程度、ピッチは約500mm程度です <b>（上部レールカバーを取り付けてからシート張り調整）</b>	ビット（No1）  キリ（2.5Φ）	M3×6のタッピングビス
上部レールカバー：L=3,000			
ポイント	上部レールカバーを取り付けてからシート張り調整 極端にクリップが突っ張ったり、シートにシワが出る箇所はクリップを外してください 逆にクリップが掛かっていなくてもシワの原因になります		
⑦-1 シートの張り具合の調整	端部器具Aに取り付けた <b>シート固定金物</b> を手で壁方向に押し込みM5ナットを手で回せるだけ回し <b>テンション</b> をかけていきます シートの張り具合を確認しながら最後に六角レンチ等でナットを回し最終調整します 養生シートを剥がせる場合は剥がしてからシートの張り具合を確認してください	六角レンチまたは ラチェット六角レンチ	EXP. Jパーツ
⑦-2 器具カバーBの取り付け 器具底カバーのビス1本の取り付け	<b>器具カバーBのV溝</b> を目印に上下50mm程度の位置に下穴（Φ2.5mm）を空けて <b>器具カバー</b> を取り付けます。 ビスは付属のM3×6のタッピングビスにていずれのサイズの器具でも上下2か所を付属のM3×6のタッピングビスにて固定します 器具カバーBを取り付けた後、器具底カバーのビスが付いていない1か所をM3×6のタッピングビスにて取り付けます	ビット（No1） キリ（2.5Φ）	M3×6のタッピングビス
⑦-3 上部レールカバーの両端部への EXP. Jパーツの取り付け	上部レールカバーの両端に器具の外側から130mm程度（長穴端から10mm程度）の位置に下穴（Φ2.5mm）を開けてM3×6のタッピングビスにてEXP. Jパーツを取り付けます		
ポイント	M5のナットはシート固定L金物を手で押し込んで回し、最後にラチェット六角レンチ等で締め込みます クリップがかかっていなくてシートにシワが出る箇所は、シートを両手で挟んで上下に動かすとクリップが掛かります シートがレール側面カバーに接触してシワになる場合はヘラ等でこじてスキマをあけてシートがカバーに接触しないようにしてください		
⑧ 養生フィルム剥がし・自主検査	シートを吊り終えたら養生フィルム（両面）を剥がして外観の最終確認をする 養生フィルムを剥がすか否かは現場管理者に確認してください （工事の工程上 剥がしてから多量のホコリがつく場合があります）		
ポイント	養生フィルムは垂れ壁の真下に入って、斜め下方向にゆっくり引っ張ってはがしてください シートの面外方向には負荷をかけないでください		

\*上記手順の番号は取り付け手順・要領図の振り番号を参照願います

# 手順図

①-1 端部器具A (R・L) の  
端部器具底カバーの取り付け

端部器具A (R)  
端部器具底カバー (R)  
付属のM3x6  
タッピングビス

◎ ↑ の3ヶ所をビス止めます  
◎ 端部器具A/端部器具底カバーにも (R・L) があります。

①-2 壁・柱への端部器具Aの取り付け

※ 器具は右用 (R) ・左用 (L) 1セットです。  
※ 器具にマーキング (R・L) のある方が上 (㉞の寸法 > ㉟の寸法)  
※ 水準器を使用して垂直に取り付けて下さい。

端部器具A (R)  
端部器具底カバー (R)  
取付下地

② EXP.Jパーツ (②-1)、上部レール (②-2) の取り付け

②-2 上部レールの取り付け

上部レール  
EXP.Jパーツ (R)  
端部器具A (R)

※ 柱・壁面より120mm離れた位置より取り付けて下さい。  
※ 蛇行しない様に取り付けて下さい。  
※ ビスは@300mm以内で取り付けて下さい。

②-1 EXP.Jパーツの取り付け

付属のM3x6  
タッピングビス  
10mm程度  
60mm  
上部レール  
EXP.Jパーツ (L)

③ シートのカット

曲尺  
シート  
柱・壁間距離-35mm  
最初はこの部分を  
カット

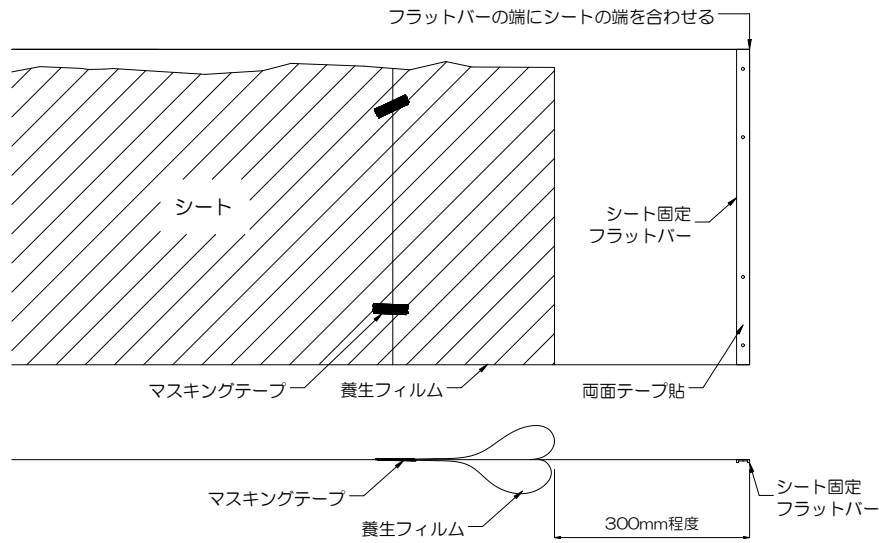
※ 清掃した床にブルーシート等で養生し、下敷きを敷いてカッターナイフでカットして下さい。

④-1 シートの養生フィルムのカット

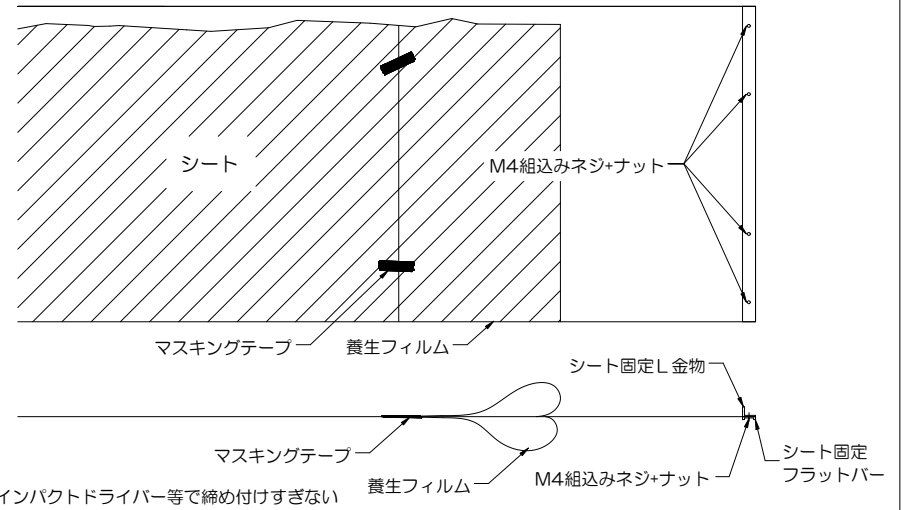
シートの汚い小口の方を上にして両面の養生フィルムを50mm幅程度カットする  
50mm程度  
シート  
シートのきれいな小口方向を下にする

# 手順図

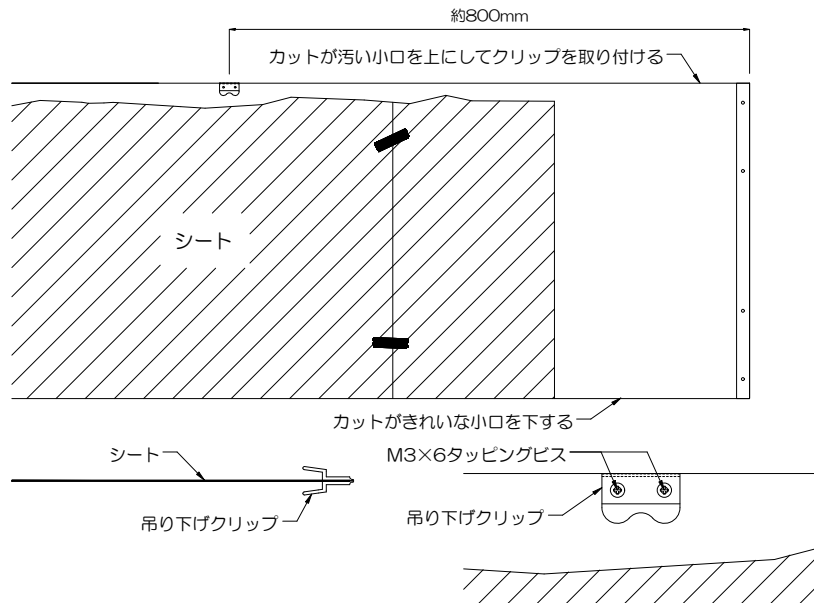
④-2 シートへのフラットバーの固定



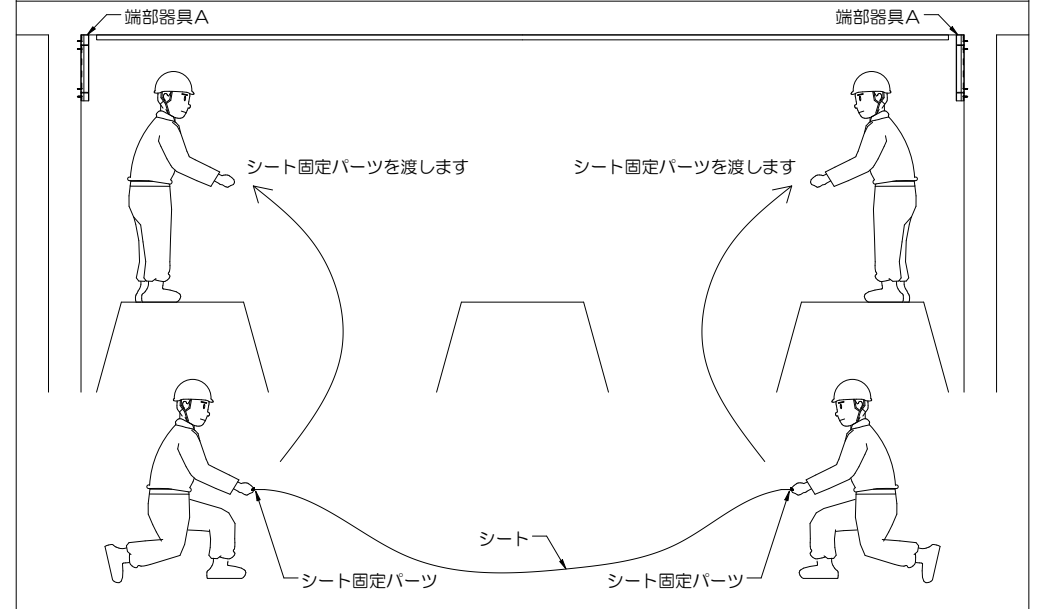
④-3 シートへのL金物の固定



⑤ 吊り下げクリップの取り付け



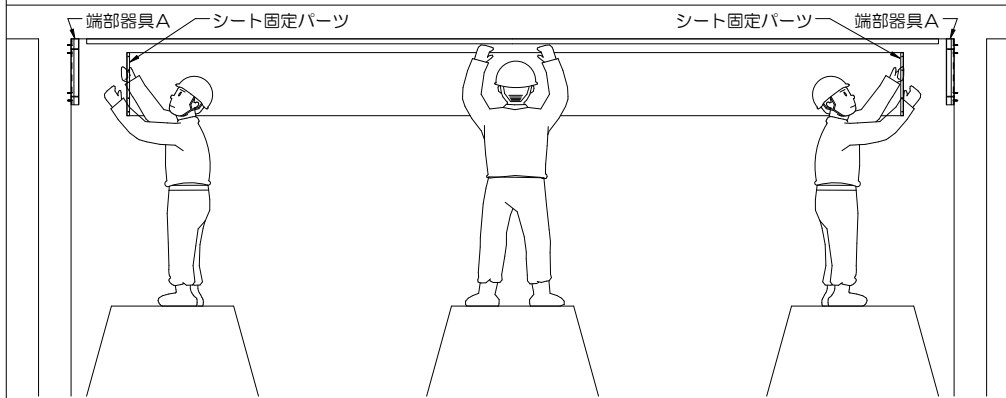
⑥-1 シートの取り付け





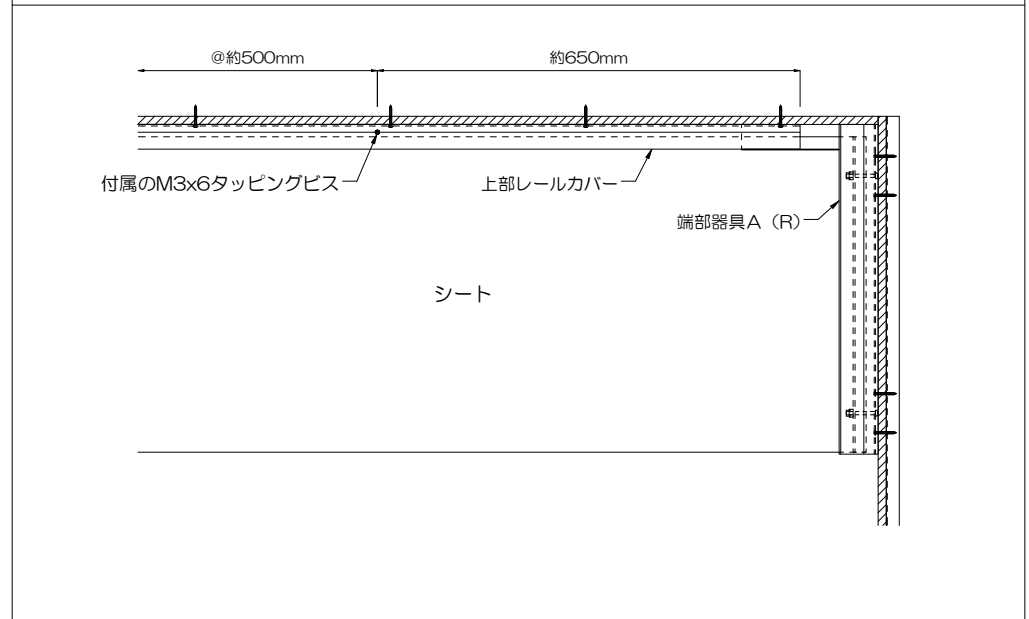
# 手順図

⑥-2 シートの取り付け、クリップの引っ掛け

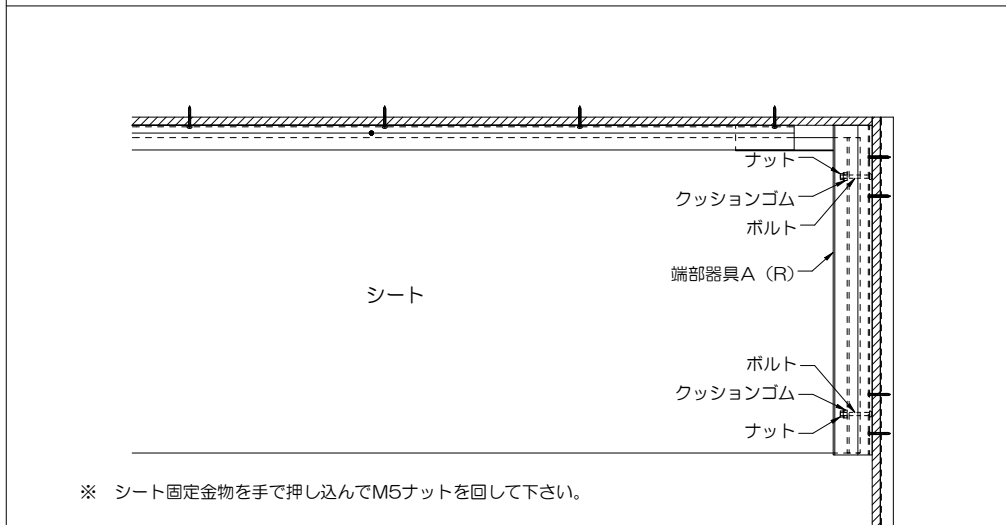


- ※ 3人でタイミングを合わせシートを平から垂直に起こします。
- ※ シートが折れたり、破れたりしない様に中間に1人入ってシートを起こします。
- ※ 端部器具Aのボルトにシート固定L金物の長穴を差し込み ワッシャー、クッションゴムの順に入れて 付属のM5ナットで締めます。
- ※ クリップを上部レールに引っ掛けていきます。

⑥-3 上部レールカバーの取り付け

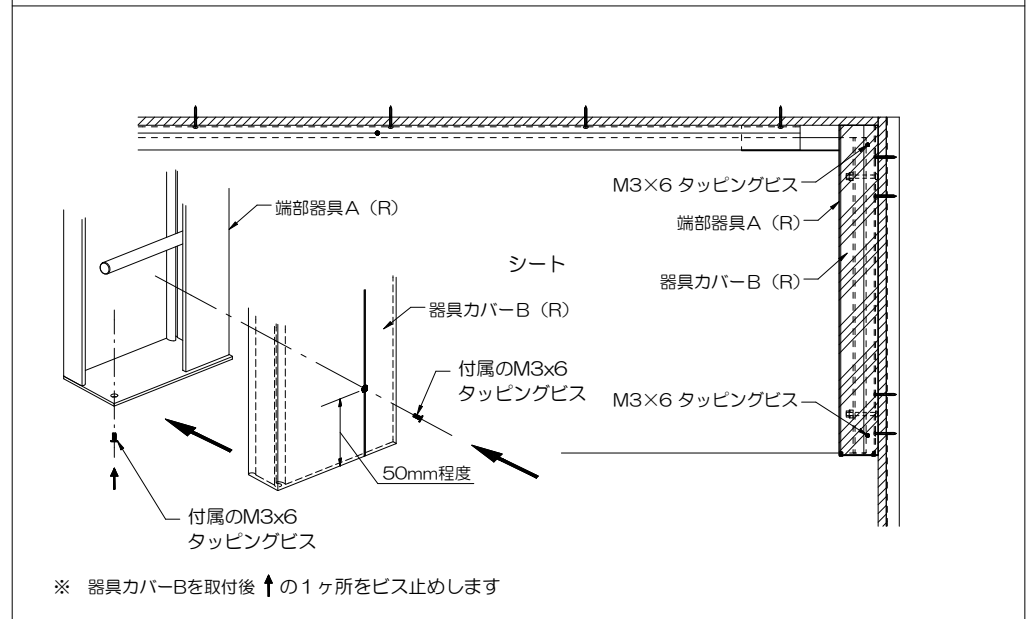


⑦-1 シートの張り具合の調整



- ※ シート固定金物を手で押し込んでM5ナットを回して下さい。
- ※ ナットを締め込めばシートは張りますが、適度な張り具合で止めて下さい。
- ※ 上下のナットは片方だけを締め込まず、均等に締めて下さい。

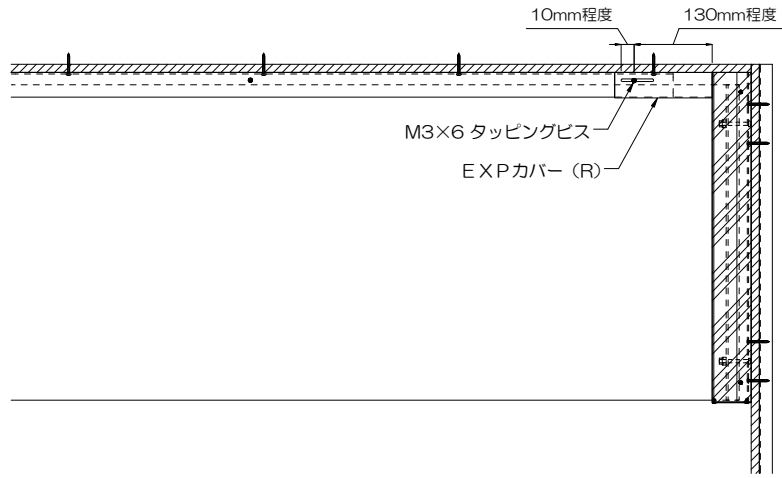
⑦-2 器具カバーBの取り付け、端部器具底カバーのビスの取り付け



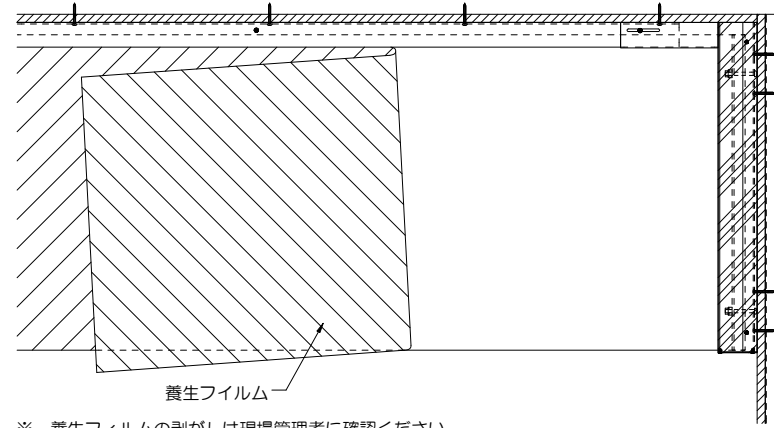
- ※ 器具カバーBを取付後 ↑ の1ヶ所をビス止めします

# 手順図

⑦-3 上部レールカバーの両端部へのEXP.Jパーツの取り付け



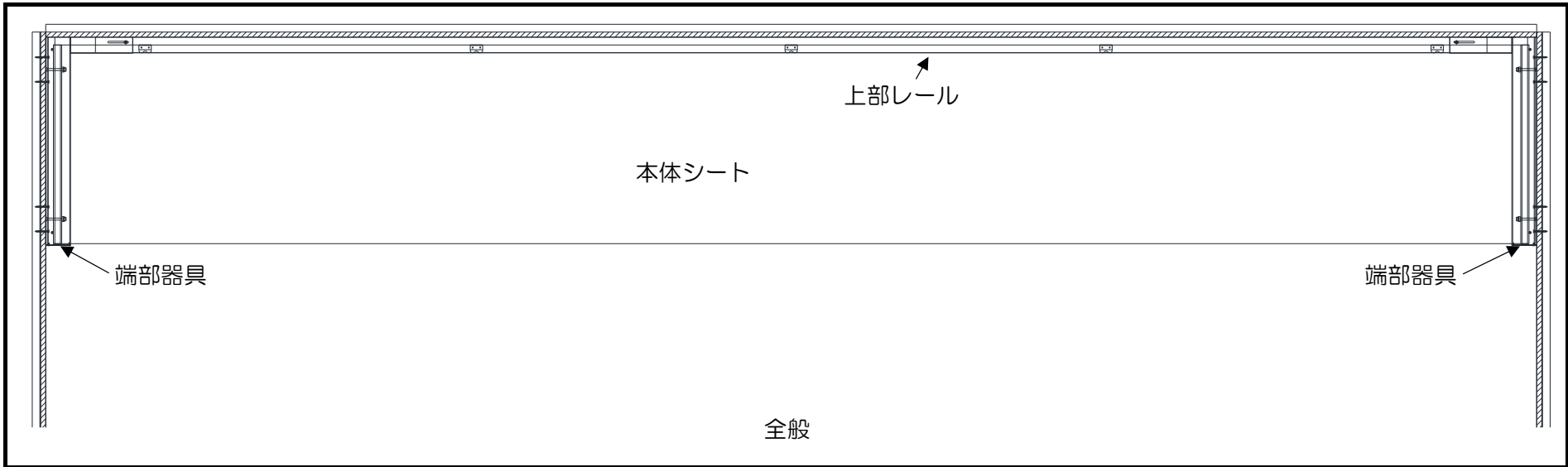
⑧ 養生フィルム剥がし・自主検査



※ 養生フィルムの剥がしは現場管理者に確認ください。

# 自主検査表

検査日： 年 月 日 検査員： \_\_\_\_\_  
 検査日： 年 月 日 検査員： \_\_\_\_\_  
 検査日： 年 月 日 検査員： \_\_\_\_\_



① 全般	確認
移動させた什器、商品は元の位置に戻している	
施工範囲、加工場の清掃は十分に行っている	
床、商品の養生材の撤去忘れはない	
資材、工具、足場仮設材、空箱等の置き忘れはない	
休憩所はきれいに片づけた	

④ 端部器具	確認
軽く揺すっても動かない	
器具は垂直に取り付けられている	
柱面・壁面に汚れ・キズ・塗装剥がれ・クロスの破れ・メクレ等はない	
器具カバーBは上下所定の位置でビス固定されている	
器具底カバーは4本で固定されている	

② 本体シート	確認
シートの取り付け位置が図面と一致している	
シートに汚れ・キズがない	
シートにシワがない	
養生フィルムを剥がした	
シートの下端部にカール（巻き）がない	

③ 上部レール・EXP,Jパーツ	確認
取り付け位置が図面と一致している	
汚れ・キズがない	
目違い・スキマがない	
蛇行が無く、通りが出ている	
EXP,Jパーツのビスは規定位置で締結されているか	